

*オーデフレッシュF 100Ⅲの場合、上塗材1回目塗りには「オーデフレッシュ共通中塗」を塗装してください。

*DANタイル中塗Rホワイトをローラー（多孔質ローラー）で塗装すると、仕上げの形状は「さざ波状」になります。細目のローラーを使用したり、希釈率を調整することによりゆず肌状の仕上げ形状に近づけることはできますが、事前に仕上がりの確認を行ってください。

*JIS A 6909 防水形複層塗材Eの規格では、下記の商品も使用可能です。

(①マーク品の組合せが、JIS A 6909合格仕様となります。)

●下塗材（既存塗膜の状態や下地の種類等により使用できない場合もあります。）

①水性カチオンシーラー（ホワイト）（1液・水系）

①ファイン浸透シーラー（透明・ホワイト）（2液・弱溶剤系）

①浸透性シーラー（新）（2液・溶剤系）

●上塗材

・パワーオーデフレッシュF（フッ素系・2液・水系）

（上塗材1回目塗りには、「オーデフレッシュ共通中塗」を塗装してください。）

・スパーーオーデフレッシュF（フッ素系・1液・水系）

（上塗材1回目塗りには、「オーデフレッシュ共通中塗」を塗装してください。）

・パワーオーデフレッシュS i（シリコン系・2液・水系）

（上塗材1回目塗りには、「オーデフレッシュ共通中塗」を塗装してください。）

①スパーーオーデフレッシュS i（シリコン系・1液・水系）

（上塗り1回目塗りには、「オーデフレッシュ共通中塗」を塗装してください。）

・1液ファインウレタンU 100（ウレタン系・1液・弱溶剤系）

（1液ファインウレタンU 100弾性添加剤を現場で添加し、ご使用ください。）

(18) 軽量骨材仕上塗材は、次による。

(ア) 材料の練混ぜは、仕上塗材の製造所の指定する方法で均一になるように行う。

なお、練混ぜ量は、仕上塗材の製造所の指定する可使時間以内に使い終わる量とする。

(イ) 下塗りは、(1)(イ)による。

(ウ) 主材塗りは、(7)(ウ)による。

15.6.7 所要量等の確認

所要量等の確認方法は、防水形の仕上塗材又は軽量骨材仕上塗材の場合、単位面積当たりの使用量によることを標準とする。また、仕上りの程度の確認は、表 15.6.4 による。

表15.6.4 仕上りの程度の確認

確認項目	仕上りの程度
見本帳又は見本塗板との比較	見本と色合、模様、つや等の程度が同様であること。
塗り面の状態	むら、はじき等がないこと。